MGC TODAY

特色ある優良化学会社を目指して

第80期中間報告書

2006年4月1日～2006年9月30日

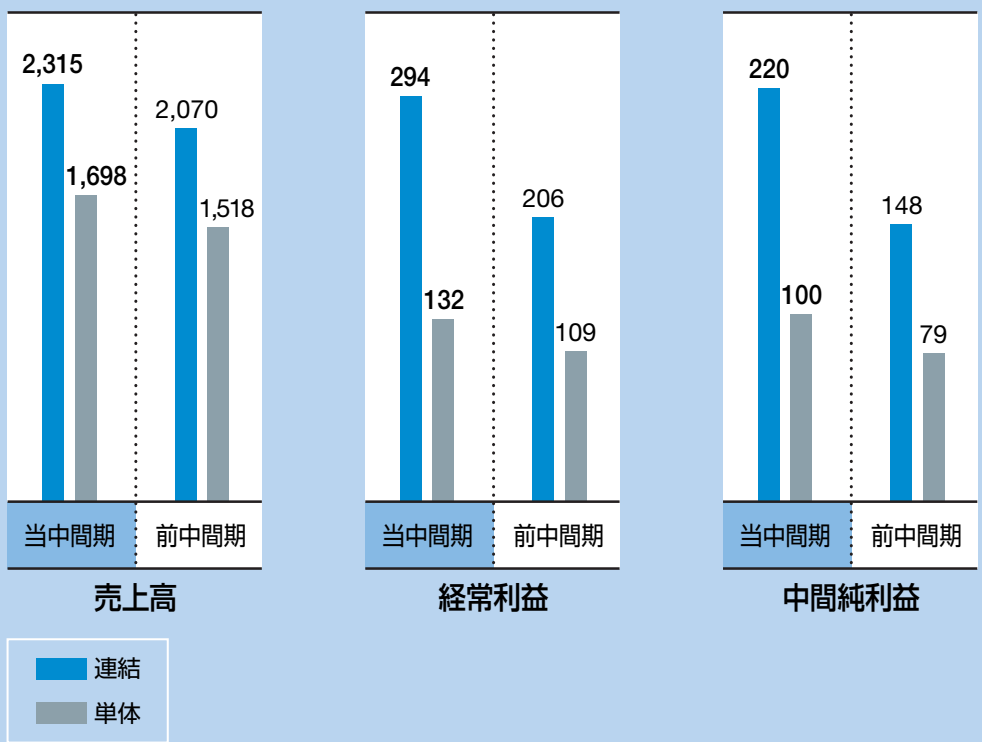
三菱ガス化学株式会社

財務ハイライト　FINANCIAL HIGHLIGHTS

（単位:百万円）

	当中間期 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	前中間期 2005年4月1日から 2005年9月30日まで
連結経営実績		
売上高	231,569	207,004
営業利益	19,838	15,677
経常利益	29,414	20,642
中間純利益	22,078	14,838
単体経営実績		
売上高	169,837	151,844
営業利益	9,734	9,043
経常利益	13,234	10,968
中間純利益	10,087	7,923
1株当たり中間配当金（単位:円）	6.00	4.00

（単位:億円）



目　次

株主の皆様へ　1

事業別営業概況
- 天然ガス系化学品事業　2
- 芳香族化学品事業　3
- 機能化学品事業　3
- 特殊機能材事業　4
- その他事業　4

決算概要
- 中間連結貸借対照表　5
- 中間連結損益計算書　6
- 中間連結株主資本等変動計算書　6
- 中間連結キャッシュ・フロー計算書　6
- 中間貸借対照表　7
- 中間損益計算書　7

会社概要　8

株式の概要　9

株主の皆様へ　To Our Stockholders

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第80期上半期（2006年4月1日から2006年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国経済は、順調な設備投資、堅調な個人消費や海外需要などにより、前期に引き続き回復を続けました。

当社グループを取り巻く経営環境は、原油をはじめとする原燃料価格が一段と高騰したものの、回復を続ける国内景気や輸出の好調により、堅調に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは当期より新たにスタートした中期経営計画「協創2008」の基本方針に基づき、更なる成長と経営基盤の強化に向けた施策に取り組むとともに、販売数量の拡大、販売価格の改善など収益向上に努めてまいりました。

この結果、当上半期の連結業績は、売上高は前年同期比245億6千万円増の2,315億6千万円、営業利益は41億6千万円増の198億3千万円、経常利益は87億7千万円増の294億1千万円、中間純利益は72億3千万円増の220億7千万円となりました。

また、当社単独の業績は、売上高は前年同期比179億9千万円増の1,698億3千万円、営業利益は6億9千万円増の97億3千万円、経常利益は22億6千万円増の132億3千万円、中間純利益は21億6千万円増の100億8千万円となりました。

当期の中間配当金につきましては、上記業績などを勘案して1株当たり6円といたしました。

今後の経済情勢は、設備投資や個人消費など国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見られる一方、原油をはじめとする原燃料価格の高止まり、為替リスク、インフレリスクの台頭なども懸念されます。

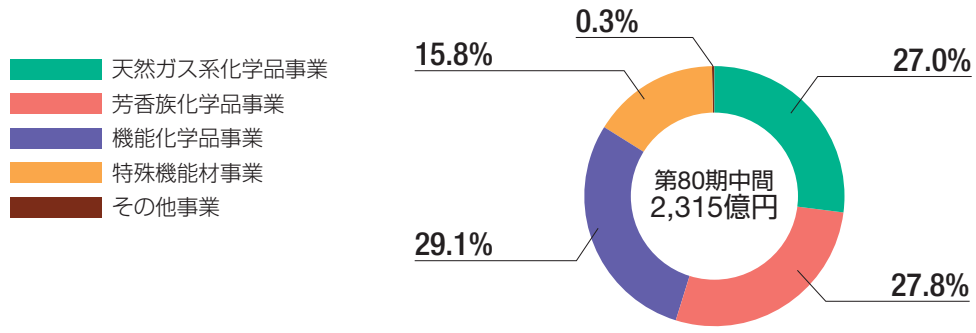
当社グループとしては、以上のような状況認識の下、当期より新たにスタートした中期経営計画「協創2008」の基本方針である「差異化戦略の徹底による更なる成長」と「経営基盤の強化」に取り組み、真の高収益・研究開発型企業集団としての持続的成長を目指してまいります。

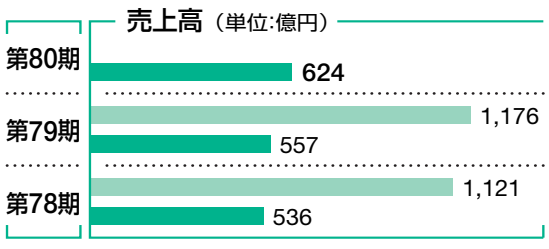
株主の皆様には引続きのご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

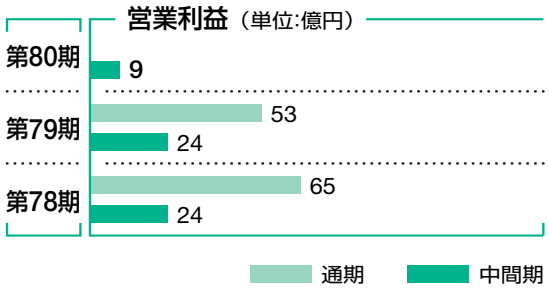
代表取締役社長

小高　英紀

事業別売上高比率







上半期トピックス

● コエンザイムQ10の合弁事業を開始

天然ガス系化学品事業

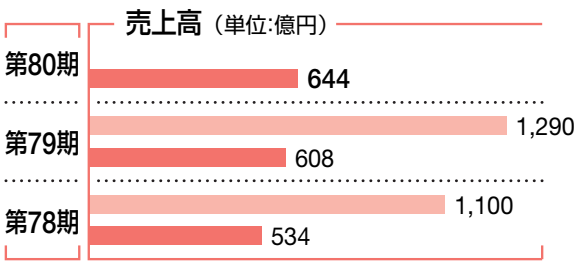
天然ガス系化学品事業の当上半期の連結売上高は対前年同期比67億7千万円増の624億8千万円、営業利益は14億5千万円減の9億9千万円となりました。

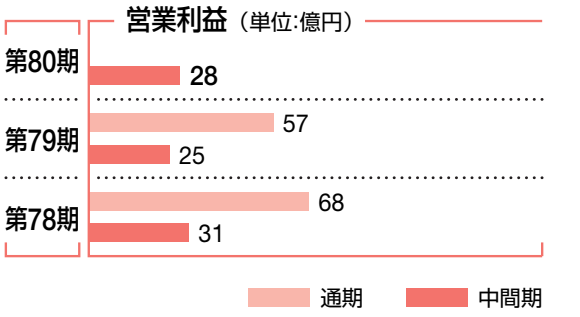
メタノールは、前期に引き続き需要が好調な一方、新規大型プラントの稼動による目立った供給増加もなかったことから、市況が高値で安定し、対前年同期比で大幅な増収となりました。また、持分法適用の海外メタノール生産会社の業績も引き続き好調に推移しました。

メタノール・アンモニア系化学品は、全般に需要が好調で、メタノールをはじめとする原燃料価格の上昇を販売価格に転嫁したことから、売上は対前年同期比で増収となりましたが、一部製品の採算悪化や定期修繕などによる修繕費の発生、生産量減により減益となりました。

酵素・補酵素類では、コエンザイムQ10の販売価格が大幅に下落したことにより、減収減益となりました。

天然ガスその他のエネルギー販売は、一段と高騰した原油市況を受け、増収増益となりました。





上半期トピックス

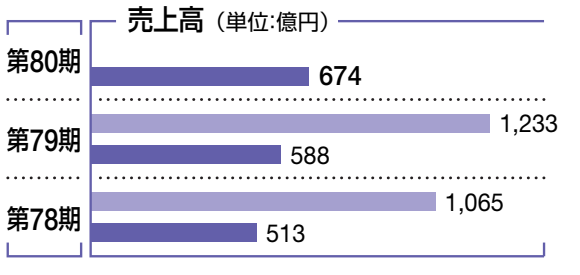
- 電子デバイス向け高耐熱性無色透明フィルム「ネオプリム」のセミコマーシャルプラント建設計画発表

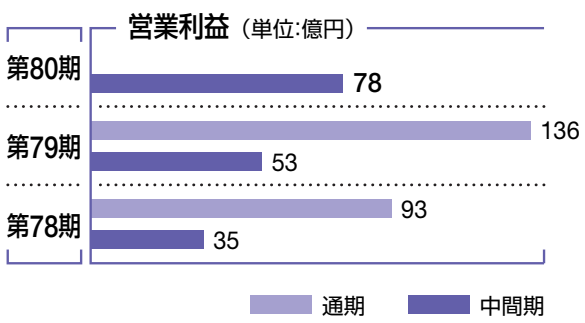
芳香族化学品事業

芳香族化学品事業の当上半期の連結売上高は対前年同期比35億9千万円増の644億2千万円、営業利益は2億5千万円増の28億2千万円となりました。

汎用芳香族化学品は、事業再編などによりパラキシレン、フタル酸などの販売数量が減少したものの、原料キシレン価格が高騰したため、売上高は前年同期並みとなりました。

特殊芳香族化学品は、MXDA、MXナイロンなどが欧州向けに販売数量を伸ばしましたが、一部製品でユーザーの在庫調整があり、原料価格上昇の影響による採算悪化もあって、前年同期を下回りました。一方、イソフタル酸を製造販売する子会社のエイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル（株）は、好調な需要に支えられ増収増益となりました。





上半期トピックス

- ArF（フッ化アルゴン）用フォトレジストモノマー製造装置を新設

機能化学品事業

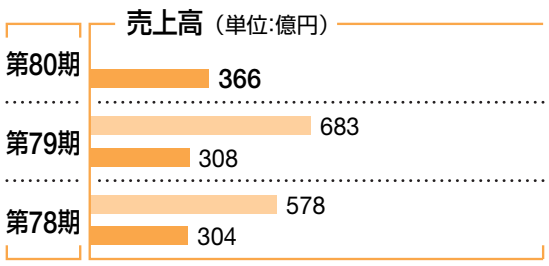
機能化学品事業の当上半期の連結売上高は対前年同期比85億9千万円増の674億6千万円、営業利益は25億0千万円増の78億1千万円となりました。

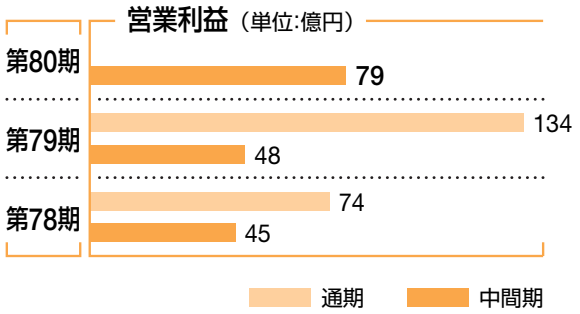
工業用無機薬品類は、原燃料価格が上昇したものの、紙パルプの非塩素漂白用途などで過酸化水素の販売数量が増加し、レンズモノマーの販売も好調であったため、前年同期を上回りました。

電子工業薬品類は、引き続き、ユーザーである国内外の半導体・液晶業界の堅調な需要を受け、海外子会社も含め、対前年同期比で増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、全般に好調に推移しましたが、主力のポリカーボネートにおける若干の市況軟化、原料価格の高騰もあり、前年同期並みの結果に止まりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ、携帯電話、ゲーム機器用途向けの高付加価値品が伸び、好調に推移しました。





上半期トピックス

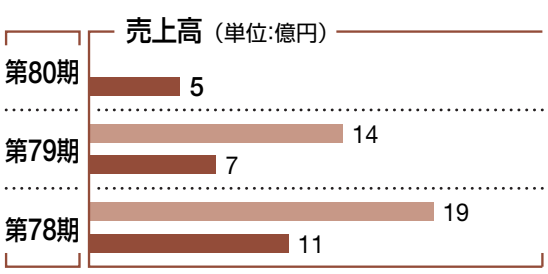
- エレクトロテクノ（株）の生産能力増強計画を発表

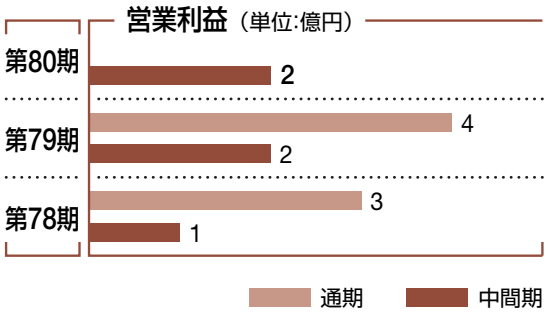
特殊機能材事業

特殊機能材事業の当上半期の連結売上高は対前年同期比58億3千万円増の366億4千万円、営業利益は30億2千万円増の79億1千万円となりました。

プリント配線板用材料は、銅箔をはじめとする原材料価格が大幅に上昇したものの、年明け以降急増した半導体パッケージ向けBT系材料の受注量が上半期前半まで好調に推移した結果、前年同期を大幅に上回る結果となりました。プリント配線板用小径孔あけ補助材料LEシートも順調に販売を伸ばしました。一方、プリント配線板関係子会社の日本サーキット工業（株）は、ユーザーの在庫調整の影響などにより前年同期を下回る結果となりました。

「エージレス®」などの脱酸素剤は、主力の国内食品分野での競争が一段と激化しましたが、販売数量は増加し、非食品分野での好調もあって前年同期を若干上回りました。





その他事業

その他事業の当上半期の連結売上高は対前年同期比2億3千万円減の5億4千万円、営業利益は0千万円増の2億0千万円となりました。

中間連結貸借対照表

（単位:百万円）

科　　目	当中間期（平成18年9月30日現在）	前期（平成18年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	**261,027**	**242,255**
現金・預金	33,417	29,395
受取手形・売掛金	143,967	128,559
有価証券	7,340	12,395
たな卸資産	59,480	55,543
その他	16,822	16,360
固定資産	**328,641**	**322,228**
有形固定資産	**153,333**	**148,243**
建物・構築物	46,127	45,962
機械装置・運搬具	64,995	65,270
土地	23,622	23,076
その他	18,587	13,934
無形固定資産	**3,025**	**3,270**
投資その他の資産	**172,281**	**170,714**
投資有価証券	160,563	158,749
その他	11,718	11,964
資産合計	**589,668**	**564,483**

（単位:百万円）

科　　目	当中間期（平成18年9月30日現在）	前期（平成18年3月31日現在）
（負債の部）		
流動負債	**224,424**	**221,650**
支払手形・買掛金	96,663	87,455
短期借入金	89,728	90,164
一年内償還社債	—	10,000
その他	38,032	34,031
固定負債	**90,037**	**83,494**
社債	21,000	1,000
長期借入金	49,010	60,642
退職給付引当金	8,721	9,385
その他	11,305	12,466
負債合計	**314,462**	**305,145**
少数株主持分	**—**	**8,136**
（純資産の部）		
株主資本	**246,965**	**227,834**
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,560	35,554
利益剰余金	173,515	154,336
自己株式	△4,081	△4,027
評価・換算差額等	**19,585**	**23,368**
その他有価証券評価差額金	22,529	25,980
繰延ヘッジ損益	109	—
土地再評価差額金	192	192
為替換算調整勘定	△3,245	△2,803
少数株主持分	**8,656**	**—**
純資産合計	**275,206**	**259,338**
負債・純資産合計	**589,668**	**564,483**

注）前期の資本の部は、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号）にあわせて純資産の部に組替表示しています。

中間連結損益計算書

（単位:百万円）

科　　目	当中間期 （平成18年4月1日～平成18年9月30日）	前中間期 （平成17年4月1日～平成17年9月30日）
売上高	**231,569**	**207,004**
売上原価	189,016	167,769
販売費及び一般管理費	22,713	23,557
営業利益	**19,838**	**15,677**
営業外収益	12,998	8,115
営業外費用	3,422	3,150
経常利益	**29,414**	**20,642**
特別利益	623	204
特別損失	565	464
税金等調整前中間純利益	**29,473**	**20,382**
法人税、住民税及び事業税	6,298	4,397
法人税等調整額	461	624
少数株主利益	635	522
中間純利益	**22,078**	**14,838**

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科　　目	当中間期 （平成18年4月1日～平成18年9月30日）	前中間期 （平成17年4月1日～平成17年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**11,299**	**5,461**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△6,598**	**△5,915**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△6,644**	**△3,074**
現金及び現金同等物に係わる換算差額	**99**	**528**
現金及び現金同等物の増減額	**△1,843**	**△3,000**
現金及び現金同等物の期首残高	**40,590**	**28,696**
合併による現金及び現金同等物増加額	**856**	**—**
現金及び現金同等物の期末残高	**39,602**	**25,696**

中間連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	41,970	35,554	154,336	△4,027	227,834	23,368	8,136	**259,338**
当中間期の変動額								
剰余金の配当			△2,773		△2,773			**△2,773**
役員賞与			△125		△125			**△125**
中間純利益			22,078		22,078			**22,078**
自己株式の取得				△54	△54			**△54**
自己株式の処分		5		0	6			**6**
株主資本以外の項目の当中間期の変動額（純額）						△3,783	519	**△3,263**
当中間期の変動額合計	—	5	19,179	△53	19,130	△3,783	519	**15,867**
平成18年9月30日残高	41,970	35,560	173,515	△4,081	246,965	19,585	8,656	**275,206**

中間貸借対照表

（単位:百万円）

科　　目	当中間期（平成18年9月30日現在）	前期（平成18年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	**175,713**	**169,757**
現金・預金	8,531	9,490
受取手形	2,601	2,193
売掛金	112,445	101,265
有価証券	6,013	11,000
たな卸資産	33,202	32,433
その他	12,918	13,374
固定資産	**206,834**	**209,344**
有形固定資産	**93,242**	**91,024**
建物・構築物	29,728	30,142
機械装置	36,569	36,788
土地	14,447	13,907
その他	12,497	10,185
無形固定資産	**1,311**	**1,432**
投資その他の資産	**112,279**	**116,887**
投資有価証券	66,619	72,336
関係会社株式・出資金	41,661	40,466
その他	3,999	4,085
資産合計	**382,547**	**379,102**

（単位:百万円）

科　　目	当中間期（平成18年9月30日現在）	前期（平成18年3月31日現在）
（負債の部）		
流動負債	**144,471**	**153,664**
支払手形	760	994
買掛金	56,032	55,440
短期借入金	65,176	65,523
その他	22,503	31,706
固定負債	**69,181**	**60,355**
新株予約権付社債	20,000	—
長期借入金	34,899	44,084
退職給付引当金	4,784	5,392
その他	9,496	10,878
負債合計	**213,652**	**214,019**
（純資産の部）		
株主資本	**146,965**	**139,800**
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,690	35,684
利益剰余金	73,386	66,172
自己株式	△4,081	△4,027
評価・換算差額等	**21,929**	**25,282**
その他有価証券評価差額金	21,929	25,282
純資産合計	**168,894**	**165,082**
負債・純資産合計	**382,547**	**379,102**

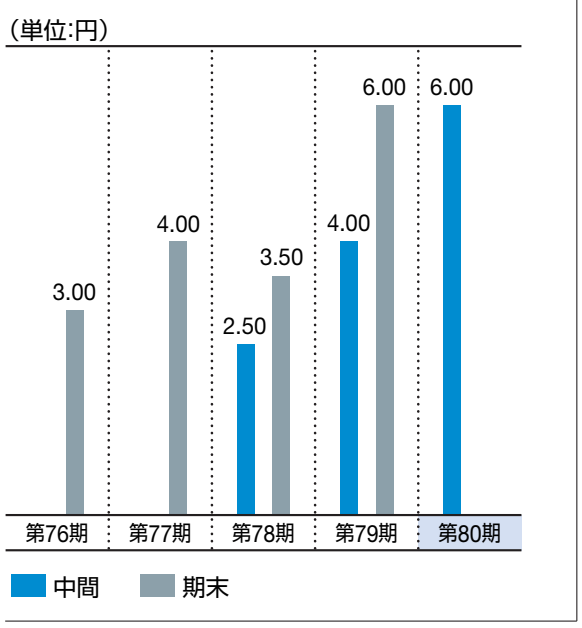
注）前期の資本の部は、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号）にあわせて純資産の部に組替表示しています。

中間損益計算書

（単位:百万円）

科　　目	当中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）	前中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）
売上高	**169,837**	**151,844**
売上原価	146,596	128,056
販売費及び一般管理費	13,507	14,744
営業利益	**9,734**	**9,043**
営業外収益	6,199	4,304
営業外費用	2,698	2,378
経常利益	**13,234**	**10,968**
特別利益	623	204
特別損失	502	316
税引前中間純利益	**13,355**	**10,856**
法人税、住民税及び事業税	2,311	2,040
法人税等調整額	956	893
中間純利益	**10,087**	**7,923**

1株当たり配当金



会社概要　COMPANY DATA

（2006年9月30日現在）

社　　名　三菱ガス化学株式会社
（登記商号：三菱瓦斯化学株式会社）
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

本社所在地　〒100-8324
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号　三菱ビル

創　　業　1918（大正7）年1月15日

設　　立　1951（昭和26）年4月21日

資 本 金　419億7千万円

従業員数　2,157名（連結：4,515名）

事 業 所　営業所：　大阪支店、名古屋支店
研究所等：　東京研究所、新潟研究所
平塚研究所、東京開発センター
MGC分析センター
工　場：　新潟工場、水島工場、四日市工場
山北工場、鹿島工場

役　　員

代表取締役会長	大平　晃
代表取締役社長	小髙英紀
代表取締役専務執行役員	喜嶋安彦
代表取締役専務執行役員	上松正次
取締役常務執行役員	酒井和夫
取締役常務執行役員	梅村俊和
取締役常務執行役員	山崎慶重
取締役常務執行役員	川上邦彰
取締役常務執行役員	宮坂一博
取締役常務執行役員	塚本耕三
執行役員	白田憲男
執行役員	宮内　雄
執行役員	杉原康夫
執行役員	大矢邦夫
執行役員	上石邦明
執行役員	畑　仁
執行役員	水谷　誠
執行役員	中尾　純
執行役員	小西規夫
執行役員	倉井敏磨
執行役員	織作正美
執行役員	酒井幸男
理事	大牟田秀文
理事	山根康三
監査役[常勤]	池田幸男
監査役[常勤・社外]	野口一英
監査役[常勤]	川木隆雄
監査役[非常勤・社外]	田口　弥

連結子会社（30社）

木江ターミナル（株）
（株）東京商会
日本サーキット工業（株）
日本パイオニクス（株）
（株）日本ファインケム
菱江化学（株）
菱和エンタープライズ（株）
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
エレクトロテクノ（株）
海洋運輸（株）
エーアンドシー（株）
東洋化学（株）
MGCフィルシート（株）
MGC ADVANCED POLYMERS, INC.
太陽産業（株）
永和化成工業（株）
三永純化（株）
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
THAI POLYACETAL CO., LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
菱陽商事（株）
P.T.PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA
共同過酸化水素（株）
国華産業（株）
フドー（株）
（株）フドーテクノ
米沢ダイヤエレクトロニクス（株）
エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル（株）
MGCファイナンス（株）
ポリオールアジア（株）

株式の概要　STOCK INFORMATION

（2006年9月30日現在）

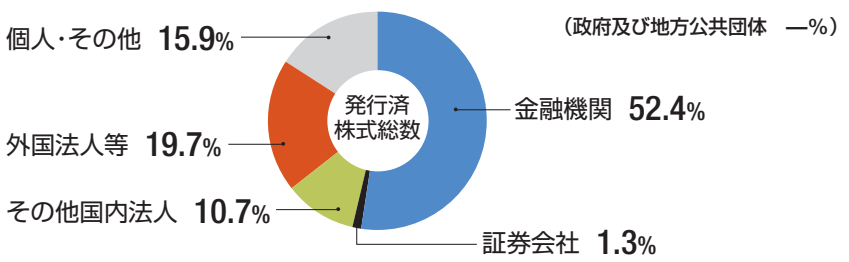
発行する株式の総数	984,856,000株
発行済株式総数	483,478,398株
株主数	32,851名
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋　各証券取引所第一部（証券コード：4182）

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	43,812千株	9.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	38,004千株	7.9%
日本生命保険相互会社	21,452千株	4.4%
明治安田生命保険相互会社	16,795千株	3.5%
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,403千株	3.4%
三菱UFJ信託銀行株式会社	11,686千株	2.4%
資産管理サービス信託銀行株式会社（信託B口）	11,241千株	2.3%
農林中央金庫	10,053千株	2.1%
旭硝子株式会社	9,671千株	2.0%
東京海上日動火災保険株式会社	9,008千株	1.9%

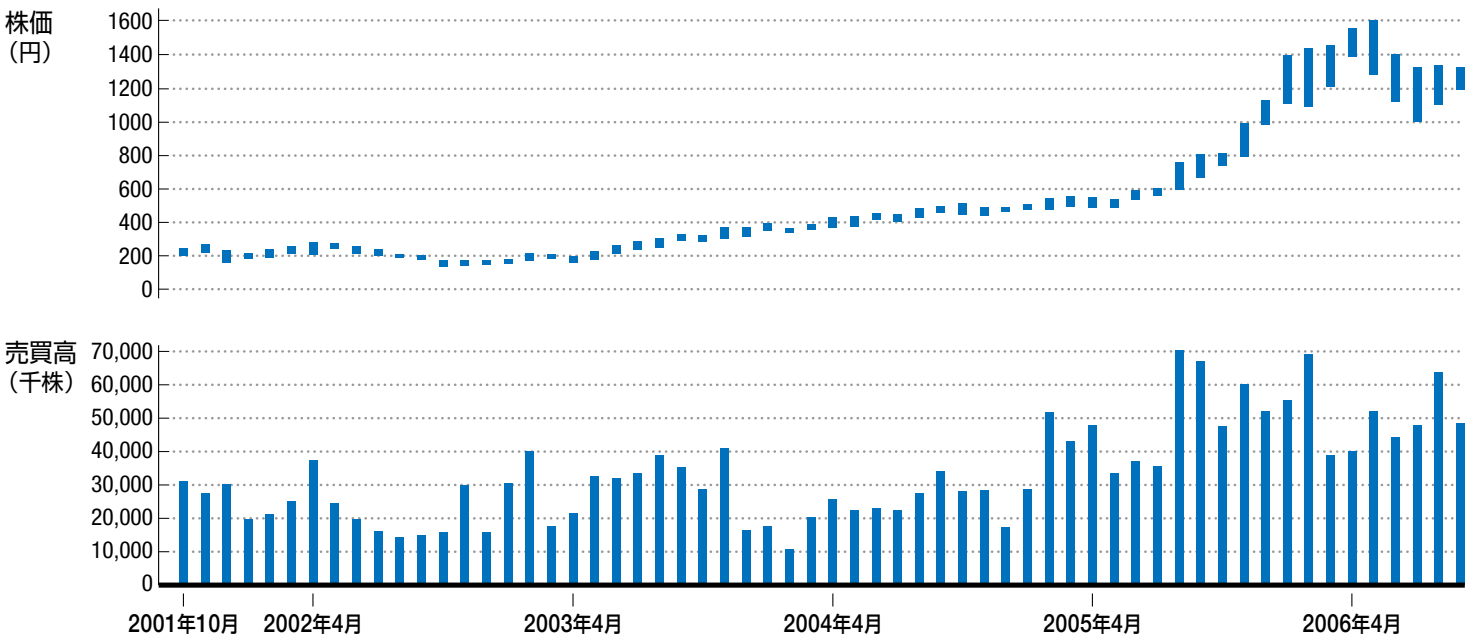
※当社は自己株式を21,225千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別分布状況



（政府及び地方公共団体　—%）

株価等の状況



株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
1単元の株式数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
同事務取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社　全国各支店 野村證券株式会社　全国本支店
お問合わせ **郵便物送付先**	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話（0120）707-696（フリーダイヤル）

住所変更、配当金振込指定･変更、単元未満株式買取買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。また、以下のホームページからもご入手いただけます。http://www.tr.mufg.jp/daikou/

単元未満株式の買取および買増請求について

単元未満株式の売却をご希望の場合（買取請求）もしくは買増をご希望の場合（買増請求）は、上記の株主名簿管理人にてお取扱いたします。
ただし、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、預託窓口の証券会社にお申し出ください。

MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

http://www.mgc.co.jp

この冊子は100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。